

今月の野鳥

3月になってもまだまだ寒い日が続きますが、時折暖かい日もあって、少しずつ春が来ていると感ずることができるようになってきました。春採湖も結氷して水鳥たちはまったく姿を見せることはありませんが、北へ帰るカモ類たちはそろそろ準備を始めることだと思います。

今月は、身近に見られるキツツキ類を紹介します。

アカゲラ (キツツキ目キツツキ科)

Dendrocopos major

☆全長 24 c m

留鳥または漂鳥として北海道から本州に分布して、四国にもきわめて少数が生息している。北海道には亜種エゾアカゲラと亜種アカゲラが繁殖している。

キツツキ類は「～ゲラ」という名前が多く、「キツツキ」という名前が付くキツツキ類はほとんどいません。(ちょっとややこしいですが…)

木に穴をあけて、巣を作ったり、木の中にいる虫をとって食べたりしています。巣を作るためにあける穴は、丸く奥が深くなっています。餌を取るために掘る穴は少し細長いので区別を付けることができます。(アカゲラより大きなクマゲラでは、エサを取るためにかなり大きな穴をあけるので、木の下に木屑がたくさん落ちていることがあります。)

雄と雌はほぼ同色ですが、頭の後ろの赤い部分が大きなのが雄で小さいのが雌なので雄雌の違いを見分けることができます。

冬には餌台にもくることがあり、とても身近なキツツキ類だといえます。

(弟子屈町立昭栄小学校 森川)

(参考文献 日本の野鳥 590 平凡社)



2010年2月 鶴居村